

共に教育力を高め合う活動の推進

長野県PTA新聞

平成24年度 長野県PTA連合会役員名簿

顧問	今井 仁志
会長	山崎 弘道
副会長	宮下 繁明
(東信代表)	小川 清
(南信代表)	丸山 朝登
(中信代表)	外谷 真之
(北信代表)	南沢 好恵
(母親代表)	三浦 和弘
(教師代表)	毛 遼二
専務理事	柳田 佳宏
監事	岡田 英恵
(父親代表)	田中 真二
(母親代表)	荒久 志政
(教師代表)	森保 芳之
(全佐久)	松原 永夫
(上小)	上條 公地
(上伊那)	清水 聖子
(飯伊)	横内 和守
(木曾)	横内 茂樹
(塩尻)	高野 巳明
(大北)	高野 文子
(松本市)	高野 美子
(上高井)	高野 幸子
(上水内)	高野 江子
(飯水)	高野 裕子
(長野市)	高野 秀司
(東信母親)	高野 力
(南信母親)	高野 千
(中信母親)	高野 功
(北信母親)	高野 重
(教師代表)	高野 昌
幹事(教師)	高野 昌
(母親)	高野 昌
編集委員(教師)	高野 昌
(母親)	高野 昌
事務局	高野 昌
事務局長	高野 昌
書記	高野 昌
書記(互)	高野 昌



長野県PTA連合会定期総会

冒頭の挨拶で今井仁志会長は「PTA活動の目標とは『子どもは育つ』ということ。そのために、家庭・学校・地域それぞれが力を結ぶことが大切である。心温まる人間関係が存在しなければ、子どもたちは育つていけない。子どもの成長に繋がるよう、保護者同士の力強い絆を築き上げるのが大切である。そのようなPTA活動を願っている」と語った。来賓祝辞で山口利幸県教育長は「重点目標として、学力向上、体力向上、不登校対策、特別支援教育の充実などの他、今年度から防災教育、キャリア教育を設けた。昨年の震災を踏まえ、安全な学校づくりを推進したい。子どもたちが将来、社会人としての役割を果たしながら地域を担っていく力をはぐくむために、学校と地域が連携してキャリア教育を推進していきたい」と述べた。

続いて、青木要信濃教育会事務局長は「教育会も『健やかなる成長』を大きな目標とし、共に手を携えて一歩一歩前進していきたい」と語った。県小・中学校PTA広報紙コンクール入賞作品の

平成二十四年度定期総会 共通テーマ「家庭が原点」

「家庭の中でしっかり子どもと向き合おう」

県PTA連合会は、五月二十五日、信濃教育会館において、定期総会を開催した。県内十六郡市代議員出席のもと、会長に山崎弘道氏が選任され、新役員と共にさらなるPTA活動の活性化を目指し、新たなスタートをきった。

新旧会長が、PTA活動におけるそれぞれの「想い」を語ります。

親子や地域でのいろいろな体験活動を紹介します。

中信・南信の学校を取材しました。特色のあるPTA活動を紹介します。

CONTENTS

新旧会長語る.....	2面
特集・子どもと一緒に.....	3面
単P訪問.....	4面

PTA憲章

「親のゆびきりげんまん」

子どもたちの健やかな成長を願って長野県PTA連合会が平成20年度制定した。

より良い子育てのための3つの行動目標

1. 家庭の中でしっかり子どもと向き合おう
2. 積極的に学校に顔を出そう
3. 地域に感謝し、地域で子どもたちを育てよう

中学校時代の同窓会が行われた。懐かしい恩師や仲間たちとの久々の再会に大いに盛り上がった。その中には、部活で優勝をめざし猛練習した仲間もいた。

当時、仲間とともに頑張った部活動が私たちにもたらしたものは、体力や技術だけではなく、精神力、忍耐力は元より、友情や感謝の気持ちもはぐくまれた。また、上級生になった時には下級生をまとめるためのリーダーシップも身につけることができた。これらのことは、運動系の部活だけではなく、文科系の部活にしても共通のことだと思える。楽しかったことよりも、辛かったことのほうが多いが、今出た支えは多いが、今の自分を支えているのは、その経験にほかならない。

今、我が子たちも私たちと同じように部活に励んでいる。子どもたちは、どのような目的を持って活動しているのだろうか。私の考える部活動の意味は、子どもたちが社会に出て必要な生きる力をつけるための大切な場だと思える。技術や体力のほかにも多くのことを学んでほしい。

部活動をおとした私の体験から、子どもたちに伝えたい。一度決めたことは最後までやり続ける。失敗は何度もあるかもしれない。それでも負けない。精神力や我慢強さを学んでほしい。また、やり遂げたという達成感もたくさん味わってほしい。

そして、子どもたちが自信に満ちあふれた姿で、未来を切り拓いていけるよう、応援していきたい。

(H・Y)



新旧 会長語る



握手で交代 山崎新会長(左)と今井前会長(右)

子育ては次代を築くもの

前会長 今井 仁志氏

二年間の県PTA会長の在任中は皆様のご支援もあり、震災ならびにその後の関東フロック大会なども含め、何とか乗り越えることが出来ました。私たちPTAの願い

は子どもの育ちであり、子どもを育てることにあります。どのくらい育つて欲しいかといえ、少なからず自分より立派なものにと願います。いつまで子育ては続くのかという、私に続くのかという、私の想いでは子が親にな

平成24年度 委員長の抱負

総務委員会

丸山 今朝登
(安曇野市立豊科南中P)

多くの皆さんとの出会いを財産として、家庭・学校・地域と連携を図り、活動計画が遂行されるよう頑張ります。



教育問題検討委員会

外谷 真之
(中野市立豊田中P)

情報交換を大事にし、家庭・学校・地域の連携を深め、子どもの安全確保や教育環境の向上に努めます。



父親母親委員会

南沢 好恵
(千曲市立戸倉上山田中P)

父親母親でいられることに感謝し、この思いを委員の皆さんと共有しながら一年間活動していきたいと思ひます。



広報委員会

宮下 繁明
(千曲市立戸倉上山田中P)

PTA活動を多くの方に伝えようと、共に、関心を持っていただくためのお手伝いができればと考えています。



郡市P・単P支援委員会

小川 清
(茅野市立永明中P)

基本である、単位PTAの活動を支援する為に、県Pとして活動できることを模索していきたいと思ひます。



安全互助委員会

今井 仁志
(顧問)

保護者・教師が安心してPTA活動に取り組めるよう、補償事業と見舞金制度を通してPTA活動の活性化をバックアップしていきます。



長野県PTA連合会会長表彰受賞者

山崎 康一 (上)	小口 浩史 (諏)	久保 仁志 (諏)	豊田 裕幸 (更)	岡澤 健一 (上)	宮島 歌奈子 (上)	山崎 康一 (上)	小口 浩史 (諏)	久保 仁志 (諏)	豊田 裕幸 (更)	岡澤 健一 (上)	宮島 歌奈子 (上)
齊藤 淳子 (諏)	竹前 傳藏 (諏)	湯澤 英喜 (上)	木下 祥子 (飯)	原 彰彦 (飯)	伊那 伊那 (諏)	齊藤 淳子 (諏)	竹前 傳藏 (諏)	湯澤 英喜 (上)	木下 祥子 (飯)	原 彰彦 (飯)	伊那 伊那 (諏)
田鹿 幸恵 (塩)	大塚 幸恵 (塩)	藤原 伸吾 (塩)	藤原 一嘉 (天)	北澤 秀卓 (天)	大川 佳伸 (天)	田鹿 幸恵 (塩)	大塚 幸恵 (塩)	藤原 伸吾 (塩)	藤原 一嘉 (天)	北澤 秀卓 (天)	大川 佳伸 (天)
萩原 昭哉 (上)	小原 昭哉 (上)	倉澤 光則 (中)	黒島 義和 (中)	清水 和雄 (上)	宮本 幸成 (飯)	萩原 昭哉 (上)	小原 昭哉 (上)	倉澤 光則 (中)	黒島 義和 (中)	清水 和雄 (上)	宮本 幸成 (飯)
美恵子 (長野市)	裕之 (教師幹事)	敏泰 (教師幹事)	俊治 (教師幹事)	真利子 (母親幹事)	初代 (母親幹事)	美恵子 (長野市)	裕之 (教師幹事)	敏泰 (教師幹事)	俊治 (教師幹事)	真利子 (母親幹事)	初代 (母親幹事)

子どものコミュニケーション

新会長 山崎 弘道氏

長野県PTA連合会では今年度の共通研究テーマを「家庭が原点、家庭の中でしっかりと子どもと向き合おう」としました。私は毎朝子どもが起きてきたら「おはよう」と声をかけます。子どもが中学生になって週末の外出や会話が少なくなり、せめて声をかけようと思ひました。最初は無言でしたが「ああ」と気のない返事が返ってくるように

第22回 長野県小・中学校 PTA広報紙コンクール

- 〈最優秀賞〉
 - 長野県教育委員会賞
 - ★長野市立広徳中学校PTA
- 〈優秀賞〉
 - 信濃毎日新聞社賞
 - ★松本市立開智小学校PTA
 - ★日本グラフィックサービス工業会
 - ★須坂市立森上小学校PTA
 - ★長野県PTA連合会賞
 - ★佐久市立岩村田小学校PTA
- 〈優良賞〉
 - ★飯田市立旭ヶ丘中学校PTA
 - ★高山市立高山中学校PTA
 - ★上田市立塩田中学校PTA
 - ★茅野市立永明小学校PTA
 - ★池田町立池田小学校PTA
 - ★長野市立若槻小学校PTA
- 〈佳作〉
 - ★長野市立徳間小学校PTA
 - ★須坂市立旭ヶ丘小学校PTA
 - ★箕輪町立箕輪北小学校PTA

今年度は、88校(小学校60校、中学校28校)の応募があり、審査の結果13校が入賞の栄に輝いた。(★が全国小・中学校PTA広報紙コンクールに推薦された)



各審査委員による講評

◆PTAのあり方にかかわる内容が多く、「子どもたちのために」という思いが伝わってきた。各校PTAの特色もよく表れていた。広報紙をおしてPTA活動の質の高さを改めて感じることができた。

◆子どもや学校への思い、PTAを盛り上げようという気持ちを強く感じた。見出しは「この文章は結局、何が言いたいのか」を大きな字にしてみると、ところから始めてみるとよい。読み手に伝われば、より深い理解といるような反応があるかもしれない。

◆読者の目を引き付ける新聞には、写真と見出しでレイアウトを工夫する方法と見出しと内容でその存在を示すものがある。今何を知らたいか、課題は何かをスマートに表現している紙面には好感を持つ。



表彰を受ける広徳中PTA

大切なお子さまのための保険です

PTA小・中学生総合補償制度



- ケガをした 通院1日目から補償
- ケガをさせた 友達に大ケガをさせてしまった
- 病気で入院した 日帰り入院から補償※7日以内

○24時間いつでもどこでも補償します
 ○個別加入に比べて保険料は約40%割安です。(注)
 ○保険料は年間3,000円からのパターンをご用意しております
 (注)上記の割引率(約40%)は、この制度の被保険者数と保険金のお支払の状況によっては、今後変更となる場合があります。

長野県PTA連合会が
 平成10年より導入している制度です。
 詳しい補償内容については、
 学校配布のパンフレットをご覧ください。

引受保険会社: 共栄火災海上保険株式会社 お問い合わせ: 小中学生総合補償制度担当係
 電話番号: 026(234)2180

十一月の第三土曜日は信州、教育の日

特集 子どもと一緒に活動しよう

犬の散歩

毎日ジョギングしてるよ

えーと、何したかなあ？

運動会での親子綱引きかな？

ボランティアのゴミ拾いに参加しました

夕食の買い物行ったわね

同じ趣味の釣りで大漁

最近、子どもと一緒に何をしましたか？



おじいちゃん家の畑の手伝い、楽しいよ

ごはん一緒に作ったね

子どもにとって、地域の行事に出かけたり、近所のお店におつかいに行ったりして、様々な人とかかわっていくことはとても大事な体験です。いろいろな体験の積み重ねで、子どもは人間関係を築く力を学んでいくからです。また、子どもが成長していく上で、親は大きな影響力があります。だからこそ、親子で一緒に体験が、子どもの成長につながるのではないのでしょうか？

子どもの育ちに必要な体験を工夫して、PTA活動に取り組んでいる学校を紹介します。



整備作業で張り替えしてもらったコースロープを伝って…

須坂市立高甫小学校

ずっと大事に

全校登山、スキー講習会、柿むき体験会など、地域の方と活動する機会が多い。しかし、子どもたちはそれを特別なことと思っていない。それだけ自然なことなのだ。そんなかわりを大切にしてきた。改めて「大事だよ」と言わなくても、ずっと大事にしてきている。それが、この地域の誇りである。

お父さんも巻き込んで

松本市立女鳥羽中学校

PTAバザー

毎年、11月に開催。保護者と一緒に、子ども準備から後片づけまで行う。昨年は「お父さんにも、もっとPTAにかかわってもらおう」と有志を募り、お父さんたちの屋台を出店し、とても盛況だった。お父さん同士も良い交流になったようで「楽しかった」「今回は協力できなかったが、来年はぜひ一緒に」などという声も上がっていた。



昨年のバザーで手ごたえを感じ、またPTA会長の方針もあり、今年は「PTAの日」にもお父さんに参加してもらおうために、講座の内容を検討中。子どものころやったことがあるスポーツなら、お父さんも参加しやすいだろうという考えだ。



PTAの日

毎年、9月に実施のPTA講座。例年、10講座程の中からやってみたいものを選んで、子どもとその家族が参加する。講師は保護者や地域の方、先生などをお願いする。講座の内容は毎年変わるが、多くの方に参加してもらうために、いろいろな種類の講座を開講する。



子どもも大人もみんな一緒に

全校登山

校歌にも歌われており、五十四年連続している全校登山。子どもだけでなく保護者や卒業生、地域の方も一緒に参加できる登山だ。先生やPTAの役員だけでなく地域の方も、下見を兼ねての登山道の整備作業に協力してくれる。当日は、孫と一緒に登山しよう、と、張り切って参加してくれるおじいちゃんおばあちゃんもいる。最後に、各自持って行った鉢玉を、一緒に山に登った記念にみんなで交換する。地域の方たちも、子どもと会話をしながらの鉢の交換が楽しめた。

第11回上田大会を、十一月十七日に上田市丸子文化会館セレスホールで開催します。

ありがとう 私たちの中川小学校



松本市

なか がわ

中川小学校

松本市北部の四賀地区。緑豊かな虚空蔵山の麓に、三角屋根の時計台が目印の校舎がある。全校児童36名は、教育目標「なかよくする子・かんがえる子・がんばる子・みんなで創ろう私たちの学校」のもと元気に学習活動に励んでいる。1873年(明治6年)「誠求学校」の名で創立、地域・自然とともに学ぶ中川小学校は、平成24年度139年の歴史に幕を下ろす。



地域に支えられて学ぶ子どもたち



阿智村

あ ち だ い さ ん

阿智第三小学校

下伊那郡の西南に位置し、西は恵那山を境として岐阜県および木曾郡に接する阿智村。かつては東山道の要所として栄え、県歌「信濃の国」にも歌われた園原がある。

地域の将来を担う子どもたちのために立ちあげられた「智里東協育の会」とともに、地域に開かれ、地域に密着した学校に53名の児童が学ぶ。

誠求の道大学
毎年六月、子ども・保護者・教職員が幾つかの小グループに分かれ、共に楽しむ地域開放講座が開催される。その講座は、中川小学校が創立当時「誠求学校」という校名だった事から「誠求の道大学」と呼ばれ十年ほど続く行事となっている。講座の計画は運営委員会が行う。参加者へのアンケートを基に、地域のよさや歴史・自然などの特色を生かせる講座を企画する。講師は地域の方にお願ひする。今年度は「お菓子作り」「エコクラフト」「ニジマスポーツ」「おもちゃ作り」の四講



「誠求の道大学」地域の方とかご作り

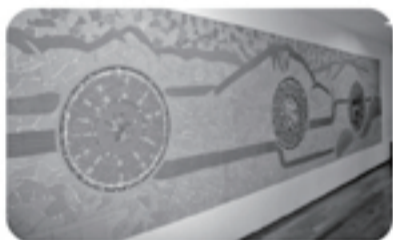
座が開設された。希望した講座に参加でき、親子で別々の講座を受講する家庭もある。一人ひとりの個性を伸ばせる絶好の機会となっている。また、子どもが卒業しても参加したいという嬉しい意見も聞かれた。

なかよしクラブ
母親委員会が運営する「なかよしクラブ」は、学校週五日制に伴い、子どもの土曜日の過ごし方を考える中で始まった。一昨年から行っている親子バス遠足は好評で、ほぼ全家庭が参加する。小旅行気分での遠足で、童心に帰って子どもとボールを滑く保護者の姿や、友だちとお昼のバイキングをほおぼる子どもの姿も見られる。昨年はお父さんの参加も多く、学年を越えた子ども同士、保護者同士の交流が生まれた一日となった。

PTA文集「ははきぎ」
教養部が中心となって、毎年、PTAの文集「ははきぎ」を発行している。昭和三十六年から続いている。昨年度五十二号の発行となった。十二月になると各家庭に原稿用紙が配られる。内容は、子育てのこと、PTAへの思いなど、なんでもよい。父親の書いた文章も数多く見られる。毎年このことなので、両親

サークル活動
中川小学校PTAでは、長年にわたり各種サークル活動が盛んに行われてきた。

OBの会「トーチャンズ」
六年程前、子どもの卒業と同時にPTA会員も卒業することになった保護者が、せっかくできたつながりをなくしたくない思いで「トーチャンズ」を作った。特に規約などがあるわけではないが、要請により、できる人たちが学校のために力を貸すという仕組みである。児童数の減少とともに、PTA会員も減少しているため「トーチャンズ」は貴重な人材だ。PTA作業などにも、協力をしてくれ、大切な戦力となっている。



校舎玄関にある大壁画

その中でも、平成七年に新築された校舎玄関にある大壁画は、陶芸サークルの集大成ともいえる作品となっている。この壁画は、当時、東京芸術大学デザイン研究室の小松敏明教授の指導を受けながら仕上げた。そびえ立つ虚空蔵山が描かれた大型陶壁に、校歌の歌詞にある「光・緑・誠」の三文字を、それぞれ小さく砕いた陶器の破

片で表現している。その小片一つひとつには、子どもたちの思いを込めたサインが記してある。現在は「書道サークル」と「フラワーアレンジメントサークル」が活動を行っている。今年度も両サークルには、子ども・保護者・地域の方も含め二十人を超える会員が集まり、二月に行われるPTAサークル展示に向けて、制作に励んでいる。

編集後記
数年前、息子の要望に添えて果樹を植えた。大きくなることを想定して位置を決め、息子と一緒に穴を掘って植えた。専門的な知識や技能があるわけではないのだが、果樹の実る日を楽しみに、息子と共にささやかな世話を続けてきた。いつしか、全ての木に花が咲き、ほとんどの木に結実が見られるようになった。しかし、一本の木だけは、今まで一度も結実したことがなかった。花が咲き終わる五月中旬頃、毎年息子と入れ替わり立ち替わり、その木の側に立つて様子を覗くようになってから数年経った。結果しない原因について、改めて話し合い、対策を練っていた今年、一つの果実が確実に実っていることを、ついに確認することができた。

広報委員
◎宮下 繁明(更 地)
◎中澤 守(上高井)
林 陽子(飯 伊)
胡桃沢公司(木 曾)
赤羽 聡(上高井)
唐木 秀樹(上伊那)
原田 千乃(飯 水)
木内 京子(長野市)

編集委員
◎赤羽 聡(高山中長)
◎和田 敦(川田小理)
伊東 貴世(後町小P)
柳澤 真美(櫻ヶ岡中P)
木下まなみ(瀬花中P)
田中富貴子(城山小P)
赤塩 香(安茂里小P)
岡 富志子(瀬花小P)

僕たち! 私たち! がついています!

信州の牛乳を飲もう!

長野県生乳生産販売委員会
信州 JA全農長野
長野県牛乳普及協会

毎年開催の料理コンクール受賞作品のレシピ等ご覧いただけます。 やっぱ信州の牛乳でしょ 検索